

ヘアピン *レース編み器* クリップ式

***編み始める前に
用意するもの(材料と用具)**
糸…糸、ひも類ならレース糸、毛糸、リボンなどいろいろ使えます。
針…レース針・かぎ針(糸の種類や太さに合ったものを選びます。)

*クリップとピンの セット方法

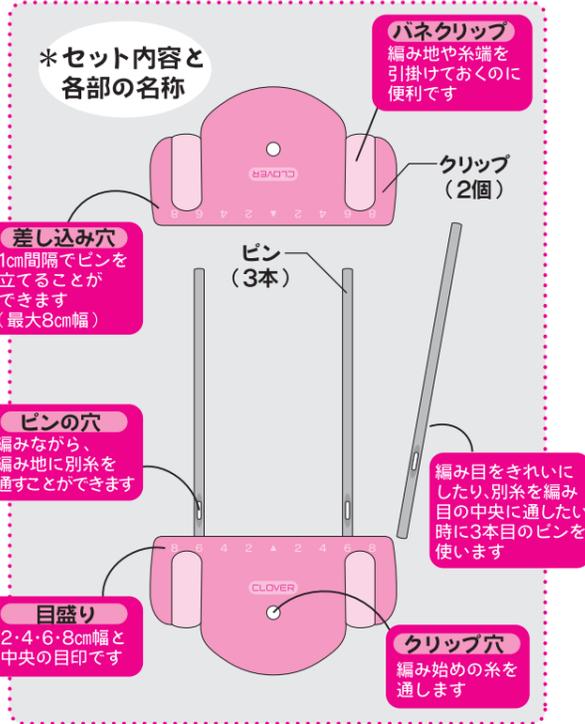


※ピンをクリップにセットする時、取りはずす時は、クリップの端(A)を持って押さえ、クリップを開いて下さい。

編む途中でクリップを取りはずす時

取りはずすクリップは(A)を持ち、もう一方のクリップは△印の周辺(B)を押さえておくと、スムーズに取りはずすことができます。

保管上のご注意
使用後は必ず、ピンをクリップから取りはずした状態で保管して下さい。



差し込み穴
1cm間隔でピンを立てることができます(最大8cm幅)

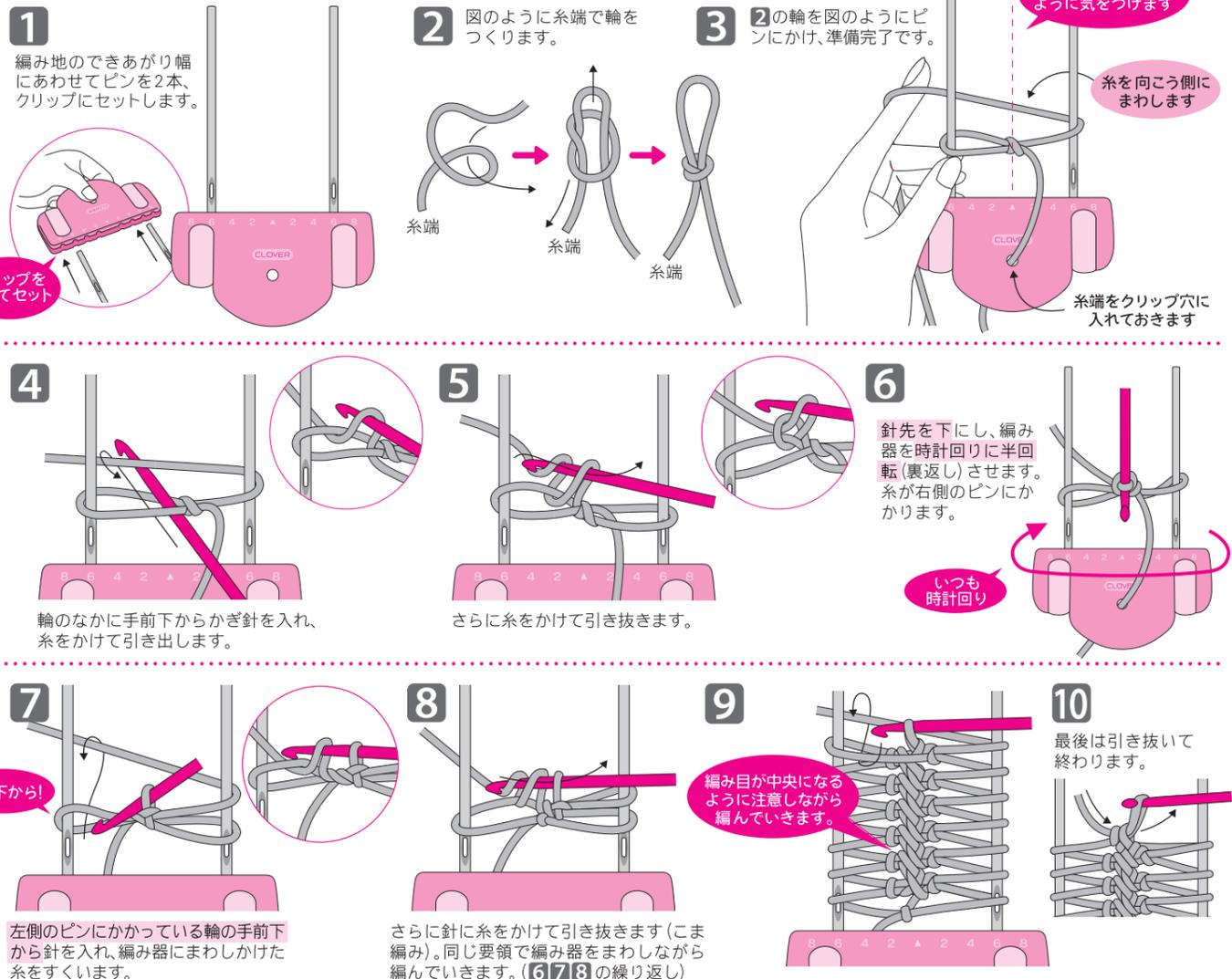
ピンの穴
編みながら、編み地に別糸を通すことができます

目盛り
2・4・6・8cm幅と中央の目印です

編み目をきれいにしたり、別糸を編み目の中央に通したい時に3本目のピンを使います

クリップ穴
編み始めの糸を通します

基本の編み方 こま編みでループを作っていきます。



1 編み地のできあがり幅にあわせてピンを2本、クリップにセットします。

2 図のように糸端で輪をつくり、図のようになります。

3 2の輪を図のようにピンにかけ、準備完了です。

結び目が中央にくるように気をつけます

糸を向こう側にまわします

糸端をクリップ穴に入れておきます

4 輪のなかに手前下からかぎ針を入れ、糸をかけて引き出します。

5 さらに糸をかけて引き抜きます。

6 針先を下にし、編み器を時計回りに半回転(裏返し)させます。糸が右側のピンにかかります。

いつも時計回り

7 左側のピンにかかっている輪の手前下から針を入れ、編み器にまわしかけた糸をすくいます。

8 さらに針に糸をかけて引き抜きます(こま編み)。同じ要領で編み器をまわしながら編んでいきます。(678の繰り返し)

9 編み目が中央になるように注意しながら編んでいきます。

10 最後は引き抜いて終わります。

編み地がいっぱいになったら…

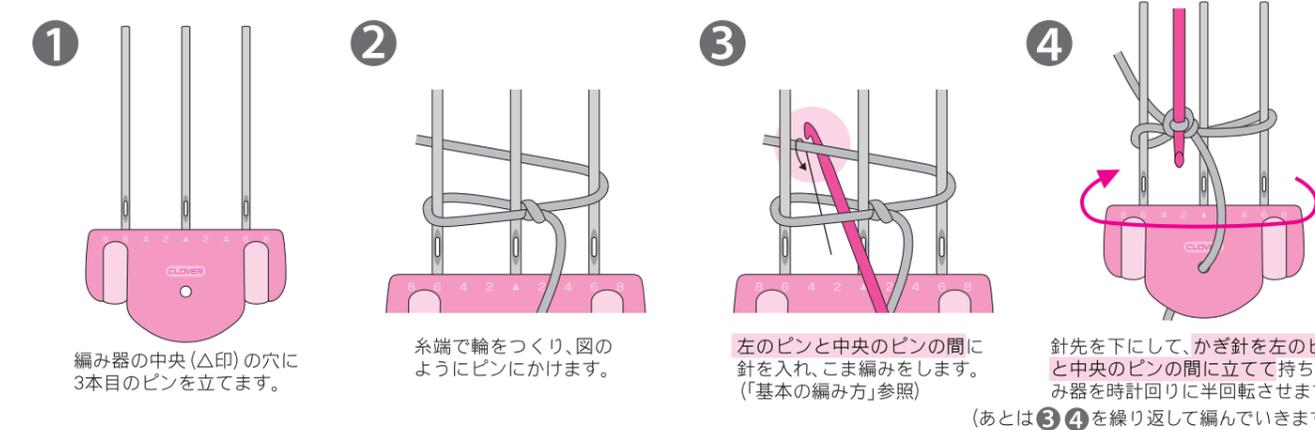


1 編み地がいっぱいになったらもう一つのクリップをはめます。

2 下のクリップをはずし、編み地を下へおろします。

3 2~3段を残して、下のクリップをはめなおし、上のクリップを外します。

3本のピンで編む方法 編み目がすれにくいので初心者の方におすすめです。



1 編み器の中央(△印)の穴に3本目のピンを立てます。

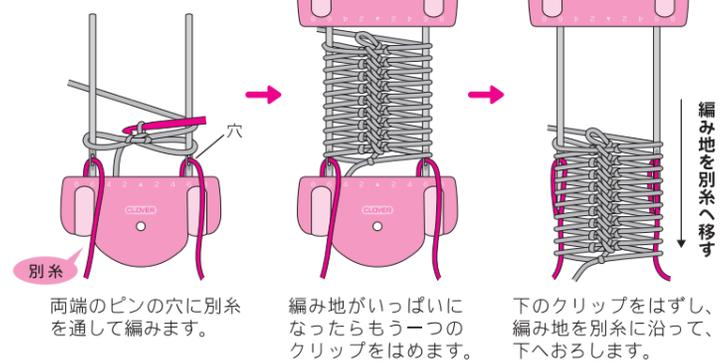
2 糸端で輪をつくり、図のようにピンにかけます。

3 左のピンと中央のピンの間に針を入れ、こま編みをします。「基本の編み方」参照

4 針先を下にして、かぎ針を左のピンと中央のピンの間に立てて持ち、編み器を時計回りに半回転させます。(あとは34を繰り返して編んでいきます。)

編み地に別糸(編みだし糸など)を通す方法 編みながら、別糸を編み地の中に通していくことができます。

★両端のピンに別糸を通す
編み地の両端に別糸が通るので、編み地をからませずにまとめておくことができます

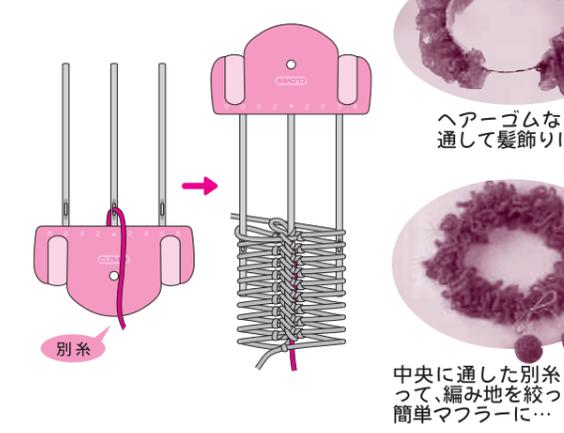


別糸 両端のピンの穴に別糸を通して編みます。

編み地がいっぱいになったらもう一つのクリップをはめます。

下のクリップをはずし、編み地を別糸に沿って、下へおろします。

★中央のピンに別糸を通す

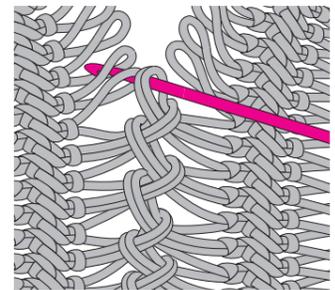


ヘアゴムなどを通して髪飾りに…

中央に通した別糸を使って、編み地を絞ったら簡単マフラーに…

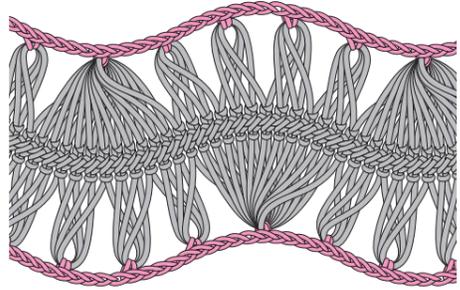
まとめ方のヒント このようにしてできた編み地をブレードと呼びます。作品に仕上げるには、これをかぎ針やレース針でつなぎます。

★ブレードを並べてつなぐ例
編みあがったブレードを2本、編み方向をそろえて用意し、そのうち並びあったループ同士をつなぎます。



★ブレードを波状にアレンジする例

くさり編みをしながらこま編みでループをとめていきます。まとめるループの数でブレードに変化をつけることができます。



使用上のご注意
・クリップを分解しないで下さい。破損の原因となります。
・用途以外の使用はお避け下さい。